

市営住宅入居者募集

●入居者資格

- ①同居、または同居しようとする親族があること ②世帯の所得が基準額を超えないこと
③現在、住宅に困窮していること ④市税を滞納していないこと ⑤暴力団員でないこと

●申込方法

5月15日(木)～5月30日(金)までに建設部都市計画課または各行政局産業建設係に備え付けの申込書に必要な書類を添えて、申し込みください。必要書類や所得基準などは、お問い合わせください。

●抽選会

同一の市営住宅に対して複数の申し込みがあった場合は、抽選会を開催します。

抽選会は、市役所で6月13日(金)に一般公開にて開催予定です。詳細は申し込みをされた方へ通知します。

※その他、随時申し込み受付可能な団地もあります。詳しくは、お問い合わせください。

問・申建設部 都市計画課 ☎82-1114 各行政局 産業建設係

▼入居者募集中の団地 ※家賃は所得に応じて金額が変わります。

地域	団地名	部屋番号	建築年	間取	家賃	駐車場
大越	求中	102号(1階)	平成8年	3DK	16,200円～63,100円	有
船引	下里団地2棟	18号(1階)	昭和52年	3DK	12,900円～37,800円	有

ちょこっと

エコライフ～身近な省エネを実践しよう!～

vol.21 食品ロスを減らして環境にもお財布にやさしい生活を!

今月は食品ロスについて考えてみましょう。食品ロスとは、食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品のことです。日本では2022年度に約472万トンの食品ロスが発生しました。これは国民1人当たり年間38kgになり、毎日おにぎり1個分を捨てていることになります。まず食品を捨てると、その生産に使われたエネルギーや労働力などが無駄になってしまいます。食品ロスによる経済損失は年間4兆円にもなると試算されています。また原材料の動植物の命を粗末に扱ってよい訳がありません。

さらに、食品ロスは生産・輸送・消費・廃棄のすべての過程でエネルギーを使い、CO₂が排出されます。2022年度の日本の食品ロスによる温室効果ガス排出量は年間1,046万t-CO₂にもなります。世界全体でみると、温室効果ガス排出量のうち、なんと8～10%が食品廃棄由来と推計されています。

そんな食品ロスは減らしたいですね。食品を購入する際に棚の手前から取ることや賞味期限の近い見切り品を購入することによって、スーパーで発生する食品ロスを減らすことができます。また、家庭で発生する食品ロスを記録できるサービス「食品ロスダイアリー」を使うことも有効です。食材の値上がりが著しい昨今、家計節約のためにも食品ロス削減に取り組んでみませんか。

(獨協大学国際環境経済学科2年 塩田・経営学科2年 菅野)



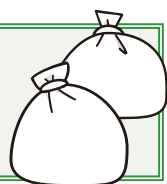
食品ロスに関するデータの算出根拠や食品ロス削減の方法について詳しくはこちら▶



田村市×獨協大学

今月のごみ量
(2月分)

- 1日1人あたりのごみの量: 686g
- 田村市のごみの量の目標: 750g ※1月のごみの量と比べて、90g減!



福島県立

たむら支援学校だより

vol.28

令和6年度 高等部 卒業証書授与式

3月1日(土)高等部の卒業証書授与式が行われました。第6期生となる14名が、企業や福祉事業所への進路を決定し巣立って行きました。福島県教育委員会委員 正木好男様をはじめ、沢山の御来賓に御臨席いただき、卒業生の門出を盛大に祝いました。



令和6年度 小・中学部 卒業証書授与式

3月18日(火)小学部・中学部の卒業証書授与式が行われました。小学部9名、中学部8名の卒業生が、4月から中学部、高等部へと進学します。自分のできることを増やすとともに、卒業後の進路実現をめざす、立派な中学生、高校生になることを期待しています。



小学部 卒業おめでとう会

3月11日(火)小学部の「卒業おめでとう会」が行われました。お世話になった6年生に、心をこめて演奏や劇を披露したり、プレゼントを贈呈したりしました。6年生のみなさん中学部でもがんばってください。



中学部 卒業を祝う会

3月7日(金)中学部の「卒業を祝う会」が行われました。卒業生の素敵なお話や紹介やプレゼント交換、ボウリングなどで楽しい時間を過ごしました。卒業生のみなさん高等部でもがんばってください。



高等部 卒業生を送る会

2月20日(木)高等部の「卒業生を送る会」が行われました。各学年グループごとに余興を考え、ダンスやクイズ、大道芸を披露し、卒業生への感謝を伝え、活躍を祈り盛大に送り出しました。



【編集後記】 今回が今年度最終号となります。今年度も保護者並びに地域の皆様方に支えられ、充実した教育活動を進めることができましたことに改めて感謝申し上げます。本校で開設準備を進めてきました「あだち支援学校」が、いよいよ4月から開校します。これまで安達地域から通っていた子ども達のほとんどが転学することになり、「たむら支援学校」の児童生徒数は若干縮小することになります。開校9年目を迎え、田村地区の子ども達を中心とした新たな学校づくりを進めていくことになり、保護者並びに地域の皆様方には、様々な場面でお世話になることと思います。引き続き、ご理解とご協力いただき、本校の学校運営を見守っていただければ幸いです。

福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel…0247-82-4114 Fax…0247-82-4119
【石崎校舎】Tel…0247-82-4627 Fax…0247-82-4629
HP…<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail…tamura-sh@fcs.ed.jp

